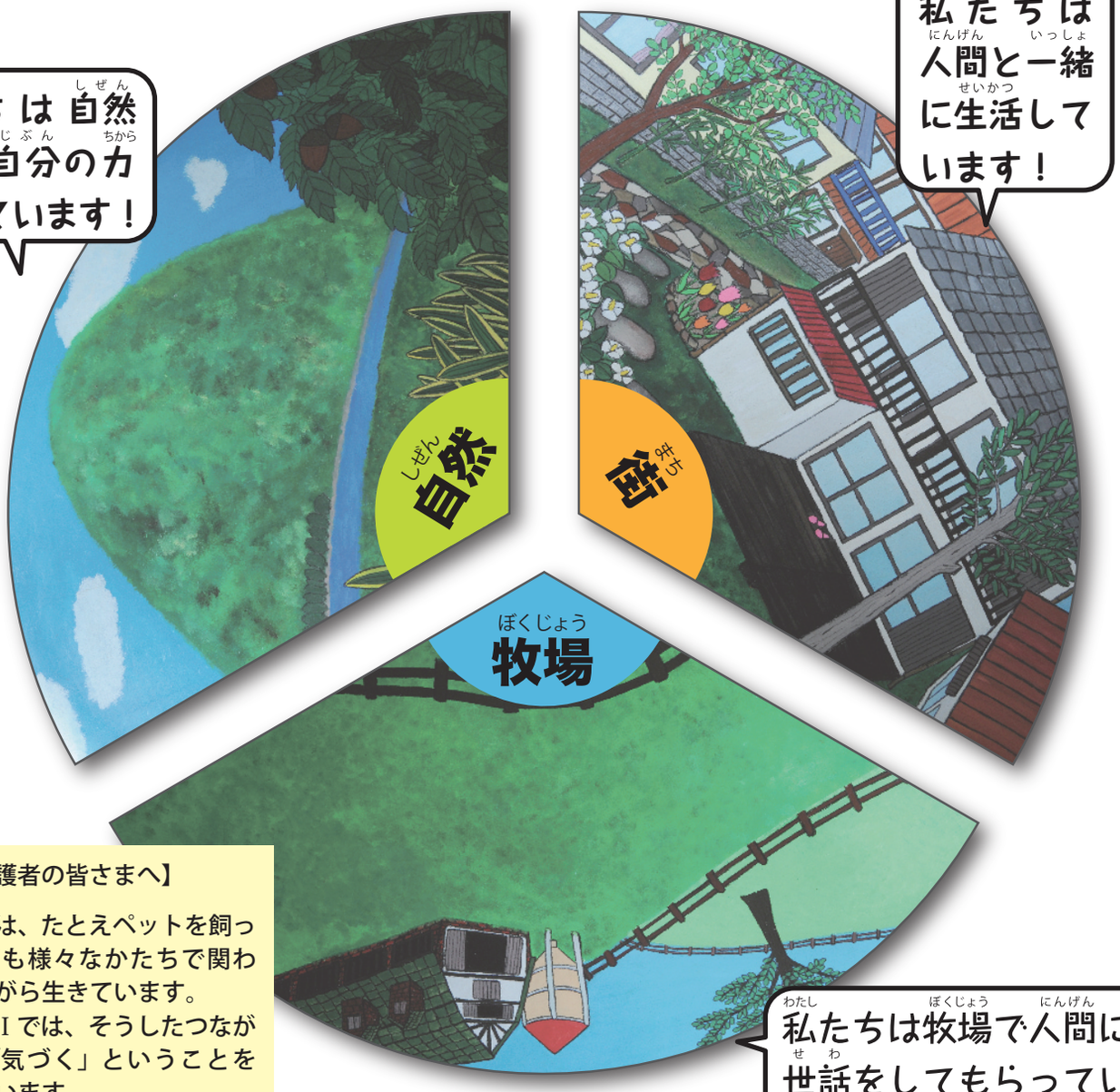
奈良県 うだ・アニマルパーク 「いのちの教育」プログラム
【ダウンロード用ワークシート】

奈良県「いのちの教育」プログラムでは、右の写真のように 20 体ワンセットの教材を使用していますが、こちらのダウンロード教材では 10 体のみでの実施となります。

裏面のプログラム II、III のホワイトボード、黒板のスペースが足りなければ、別の紙にご記入ください。

プログラム I　私たちと動物のつながり　》 気づき

この 3 つのパネルの上に、それぞれの場所で暮らしている動物を置いてみましょう。



【保護者の皆さまへ】

人間と動物は、たとえペットを飼っていなくても様々なかたちで関わりを持ちながら生きています。
プログラム I では、そうしたつながりに自ら「気づく」ということを目的にしています。

にんげん と **どうぶつ** は **つながっている**

プログラムⅡ　動物と私たちの「いのち」は同じ　共感

下の２つのパネルに描かれた犬は、今、どんな気持ちか想像して書き込んでみましょう。

【保護者の皆さまへ】

動物にも、人間と同じように喜びや悲しみなどの「感情」があります。
また、動物も私たちと同じように「生きていて」「こんなふうにくらしたい」というニーズがある生き物であることを伝えます。

プログラムⅢ　動物のために私たちができること　責任

それぞれの動物を、「うれしい･楽しい気持ち」にするために、私たちができることを書き込んでみましょう。

わたしたちと動物とのやくそく

野生動物

・しぜんをきれいにする

家畜

・ひろいところでかう

ペット

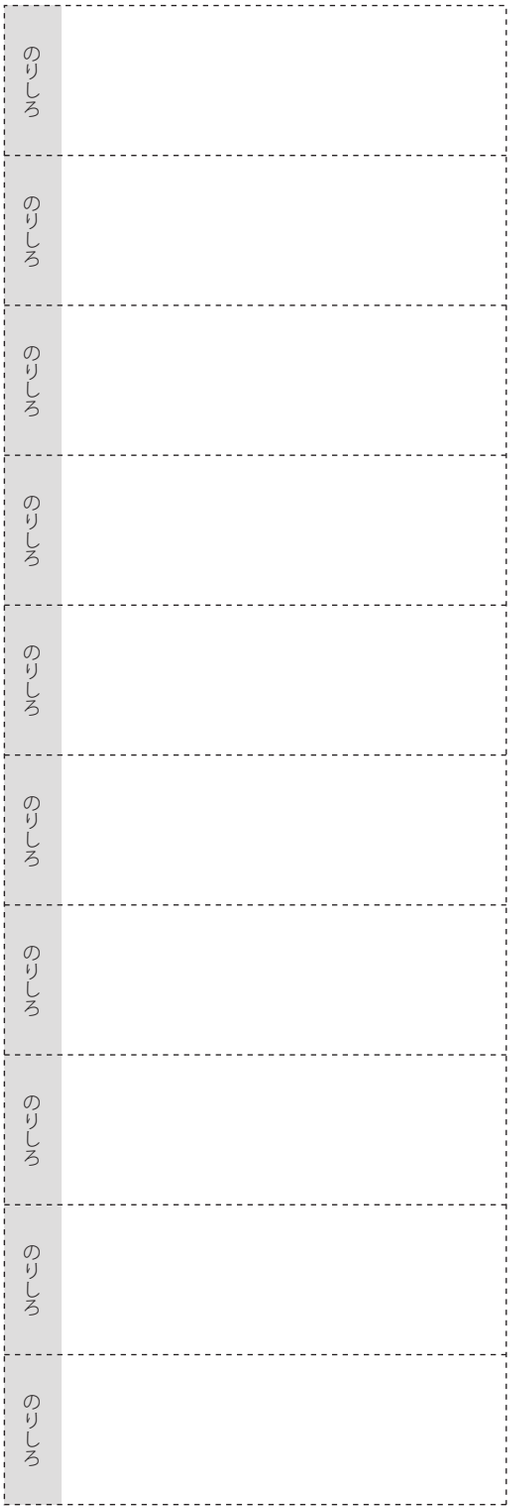
・まいにちさんぽにいく

【保護者の皆さまへ】動物が「よりよく生きる」ために、人間が果たさなければならない責任を、私たちができることとして考えてもらうことを目的としています。

【工作用シート】【必要なもの】ハサミ／のり

左下の【支え用円柱パーツ】を点線に沿ってハサミで切り、のりしろの部分に糊を付けて円柱状のパーツを10個作ってください。右下の動物を形通りに切り抜いて、円柱に貼り付けて自立するようにします。

【保護者の皆さまへ】

プログラムⅠの3つのパネルの上に配置をするための動物たちです。例えば、ウサギはペットでもあり野生動物でもあります。また国によっては牧場でも飼育されていますので、子どもたちの意見を尊重しながら、それぞれの動物との関係性を話し合うためのツールとしてご使用ください。

【支え用円柱パーツ（10個）】